



① 大屋書房

明治15年(1882)創業の「大屋書房」は、江戸時代に刊行されたあらゆるジャンルの出版物を扱う。江戸文化の息は明治中期の1900年頃までおよぶため、同店の取り扱いも厳密にはその辺りまで。和本のほか、江戸時代の古地図、浮世絵、幕末・明治の古写真も扱う。神保町に170店ほどある古書店の中でも、「時代」で括る品そろえは非常に珍しい。美術館でガラス越しに見るような本や絵を、実際に手にとることができる。京極夏彦の小説に登場する妖怪が載った和本も多数。

03-3291-0062
千代田区神田神保町1-1



② 沙羅書房

日本史・地誌(特にアイヌ北方・琉球関係)、民俗学、考古学などの文化系学術書が充実している。国文や地誌についての和本(版本/写本)・江戸から明治期の古地図(版図/写図)などを探すならこの店はずせない。古地図を扱うきっかけは、幕末以降の東京図の蒐集をし始めたこと。200枚を超える貴重なコレクションは現在、江戸東京博物館に収められている。1967(昭和42)年の創業より、店舗販売と同時に目録販売も続けている。店頭に置いていない商品も多数あるので、前もって電話、FAX、メールなどで在庫の有無を問い合わせたほうがよい。

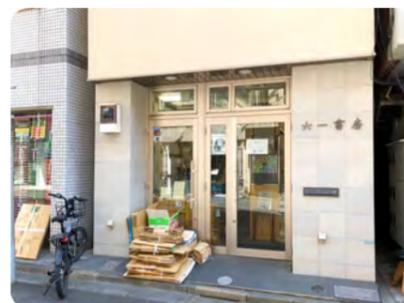
03-3219-0470
千代田区神田神保町1-32



③ 五萬堂書店

戦前の昭和10年代から昭和40年代の文系学術書を中心に扱っており、一般では手に入らないもの、入りにくいものが本棚に並んでいる。来店するのは研究者が多い。この店の特徴は、歴史に関する絶版書を多く取り揃えているところ。氏名・姓名史、地名史、地方史などの本も充実している。氏名・姓名史の本が並べてある書棚には、自分の名前と歴史の関係を解明できそうな興味深い本が並び、具体的にどのような本を探しているのか店主に相談すればたいてい出してきてくれるが、不在の場合があるので来店の際はあらかじめ連絡したほうがよい。

03-5259-5765
千代田区神田神保町1-28 近藤ビル1階



④ 六一書房

歴史と考古学の専門店「六一書房」の書棚は、新刊のほか、中国・韓国の原書、古書でびっしり。研究者垂涎の専門書が並び、品そろえは圧倒的な量を誇る。考古学会や研究会の定期刊行物、シンポジウムの報告書なども、刊行後にすぐに販売。歴史学と考古学の最新情報が集まる希少な書店だ。通常の販売ルートには乗らない、ここでしか手に入らないものばかりで埋めつくされている。新刊書・在庫の情報は、ホームページほか年3回発行の図書目録「六一考古通信」で確認できる。

03-5213-6161
千代田区神田神保町2-2-22



⑤ 秦川堂書店

NHKの番組「プラタモリ」にも登場し、「古地図といえばここ」と知られるようになった「秦川堂書店」。明治40年(1907)の創業から「紙モノ」にこだわる老舗だ。古地図以外に絵葉書、古写真、ポスターなど「視覚的にその当時の様子が分かるもの」(店主)を豊富にそろえ、鉄道関係、産業史にも力を入れる。絵葉書や時刻表がレコード屋の棚のように並べられ、とても見やすい。江戸東京関連も充実。目録は年6回発行。「紙モノはだましもあるが、印刷された内容でなく、紙と絵具を見ると作成した時代がだいたい分かります」(同)

03-3264-2780
千代田区神田神保町2-3 岩波書店アネックス2F



⑥ 書肆 秦川堂

鉄道・産業関係の資料、古地図を専門に取り扱う「書肆 秦川堂」。江戸時代から昭和30年頃までの江戸・東京関係の歴史研究資料も充実している。また、絵葉書・写真・ポスターなどの品揃えも豊富。明治期や昭和初期の旅行の様子がわかる時刻表や旅行案内書も扱っているため、旅行好きにもおすすめ。買取も積極的に行っているため、「こんな面白いものがある」といったものがあればぜひ相談してみしてほしい。

03-5213-4498
千代田区神田神保町2-13-2 神保町SFビル3F



⑦ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品そろえを誇る古書の老舗「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを遡って欲しい人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708
千代田区神田神保町2-5-1



⑧ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品そろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治・現代の初版本や限定本、直筆書類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛で、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



⑨ 叢文閣書店

江戸期から近代までに出版された東洋の歴史書を中心に扱う歴史専門店。陳列方法は時代別ではなく、インドネシア、カンボジア、フィリピン、台湾、韓国、朝鮮、沖縄、北海道など地域別。その地域におけるある時代の風俗や生活の諸相、人びとの思想哲学を詳述した書物が多く、どれも背表紙を見るだけでその年季の入りようが分かる貴重なもの。店主の珍品への追求心や、その結果充実した専門書の棚に引き寄せられ、足しげく通うのは研究者がほとんど。中には、ヨーロッパやアメリカ、韓国など海外からはるばる資料を探し求めて来店する人も。

03-3233-2332
千代田区神田神保町1-9 大雲堂ビル2階



⑩ 永森書店

戦前の古地図や日本の郷土史、植民地史料を含む戦時の史料などを専門に扱う書店。同系統の書籍を扱う秦川堂書店の次男が経営する店で、より安価に、そして旅行案内の小冊子や絵葉書などといった細かいものにも着目している。お値段も手ごろでかさばらず、気軽に手に取ることのできる絵葉書は、それが作られた当時の土地の景色や風俗、流行などを色濃く反映する小さな芸術品である。年に3回発行される目録はカラー写真が多い。ふと見つけた一枚の絵葉書が、懐かしいどこかの再会、はたまた見知らぬどこかとの出会いになるかもしれない。

03-5213-8010
千代田区一ツ橋2-6-12 上村ビル1F



⑪ 小林書房

東陽堂書店から独立した初代が昭和42(1967)年に開業した、仏教書専門の「小林書房」。仏教に関する書籍は、古本・新刊書から江戸時代以前の和本に至るまで、数多く取り揃えている。在庫書籍は「常に新しく」が店のモットー。仏教書が専門のため、客層はお寺の住職や大学の先生など、専門的な方が多い。事務所営業だが、年3回発行のカタログと日々更新しているホームページで在庫の確認ができる。

03-3263-0776
千代田区神田神保町2-12 三宅ビル2F



⑫ 小宮山書店

昭和14年(1939)開業の古書店「小宮山書店」は、ファッション、サブカルチャーから文学、哲学、心理学、歴史、宗教まで6フロアに分けて展示販売。特にヴィンテージ写真集や写真家によるオリジナルプリント、現代アート作品、三島由紀夫関係が充実。取扱いジャンルが幅広く、「フロアごとに面白い棚づくりをしているので、『何時間でも見ていて楽しい』と好評です」(店主)。毎週末に開催するガレージセールは掘り出し物多数。年に1~2回オールカラーのカタログを発行。古本や絵画、プリントの買取も行う。日曜・祝日も営業。

03-3291-0495
千代田区神田神保町1-7

